

事前評価個表

整理番号	3
------	---

地域（地区）名	<small>しりべしいぶり</small> 後志胆振	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	<small>しままき</small> 島牧村ほか 19 市町村
事業実施期間	R5 年度～R9 年度（5 年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は北海道の中央から南西部に位置し、後志総合振興局管内中南部と胆振総合振興局管内西部を区域とする。東部には<small>わしべつだけ</small>鷲別岳、オロフレ岳、ホロホロ山が南北に並び、<small>むいね</small>無意根山から<small>しゃこたん</small>積丹半島の<small>せきりょう</small>脊梁を境に、南部は<small>うちうら</small>内浦湾から<small>かりば</small>狩場山を境に日本海を接する。</p> <p>本地区の総面積 440 千 ha のうち、森林面積は 323 千 ha（森林率 73%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は 47 千 ha（人工林率 24%）で、トドマツが 49%、カラマツ 30%を占めており、齢級構成は 8 齢級以上が 62%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は 386 千 m で、公道等を含む林内道路密度は 12.0m/ha となっており、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち 18 千 ha（人工林の 38%）が 8 齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、材価の低迷や経営意欲が減退した所有者、不在村所有者などにより整備の行き届いていない森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>本事業では、森林のもつ水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の維持増進を図るため、後志胆振森林環境保全整備事業計画に基づく森林整備及びこれらを効率的に推進するために必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：25,883ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：6,550m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：7,938,471 千円（税抜き 7,216,792 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.04</p> <p>（総便益（B）=45,761,403 千円、総費用（C）=11,322,759 千円）</p>

評価結果	<p>必要性：整備の行き届いていない森林が存在しており、森林の有する水源涵養機能や土壌保全機能等といった公益的機能の持続的な発揮を図るためには、間伐や再造林等森林の整備及び保全を進める必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備によって、森林の有する水源涵養機能や土壌保全機能等といった公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：北海道

地域(地区)名：しりべし いぶり
後志胆振

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	9,428,927	
	流域貯水便益	3,336,133	
	水質浄化便益	12,243,881	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,238,317	
環境保全便益	炭素固定便益	3,943,405	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,458	
	木材利用増進便益	2,909	
	木材生産確保・増進便益	4,236,390	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	324,983	
総 便 益 (B)		45,761,403	
総 費 用 (C)		11,322,759	
費用便益比	$B \div C = \frac{45,761,403}{11,322,759} = 4.04$		

